

2 目標達成計画

事業所名： グループホーム とどろき

作成日： 令和6年4月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	地域とのつながりを深めたり、災害時等の支援につなげるため、町内会代表や警察署、消防署の職員に運営推進員になってもらうことや、避難訓練が終わった後に会議を開催し、災害時の対応をテーマに話し合うこと、また事業所スタッフが、例えば書記として交替で参加して、直接委員の意見を聴きとるなど、会議をより効果的に運営できる可能性を持つことから、それらの取り組みを進めることについて積極的に検討する。	<p>○運営推進会議の有効活用をし、委員の方と災害時の対応について話し合う機会を設ける。</p> <p>○運営推進会議の効果を高めるために、職員が直接委員の意見を聴きとる機会を設ける。</p>	<p>○運営推進会議の日に避難訓練を設定し、災害時の対応を話し合う。</p> <p>○年6回の運営推進会議の書記として職員が参加し、委員の意見を直接聴き取り議事録を作成する。</p>	12 か月
2	35	夜間の避難時には人員が必要であり、田園地帯のため町場と異なり、近接して居住する住民は少ないと思われます。そのため、普段からの声掛けなど、周辺地域住民との地道な関係づくりが大事であり、少しずつ前進できるよう努力が必要。	○周辺住民の方に、とどろきの協力員になって頂く。	○夜間の避難、有事の際の協力のため、周辺住民へ協力依頼分を作成し、協力員となって頂く。	12 か月
3					か月
4					か月